

●HTML

標準的な記述スタイル

HTML の記述バージョンを表す

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
```

```
<HTML lang="ja">
```

```
<HEAD>
```

```
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
```

```
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
```

```
</HEAD>
```

```
<BODY>
```

この<BODY>タグの間に HTML タグ を記述します。

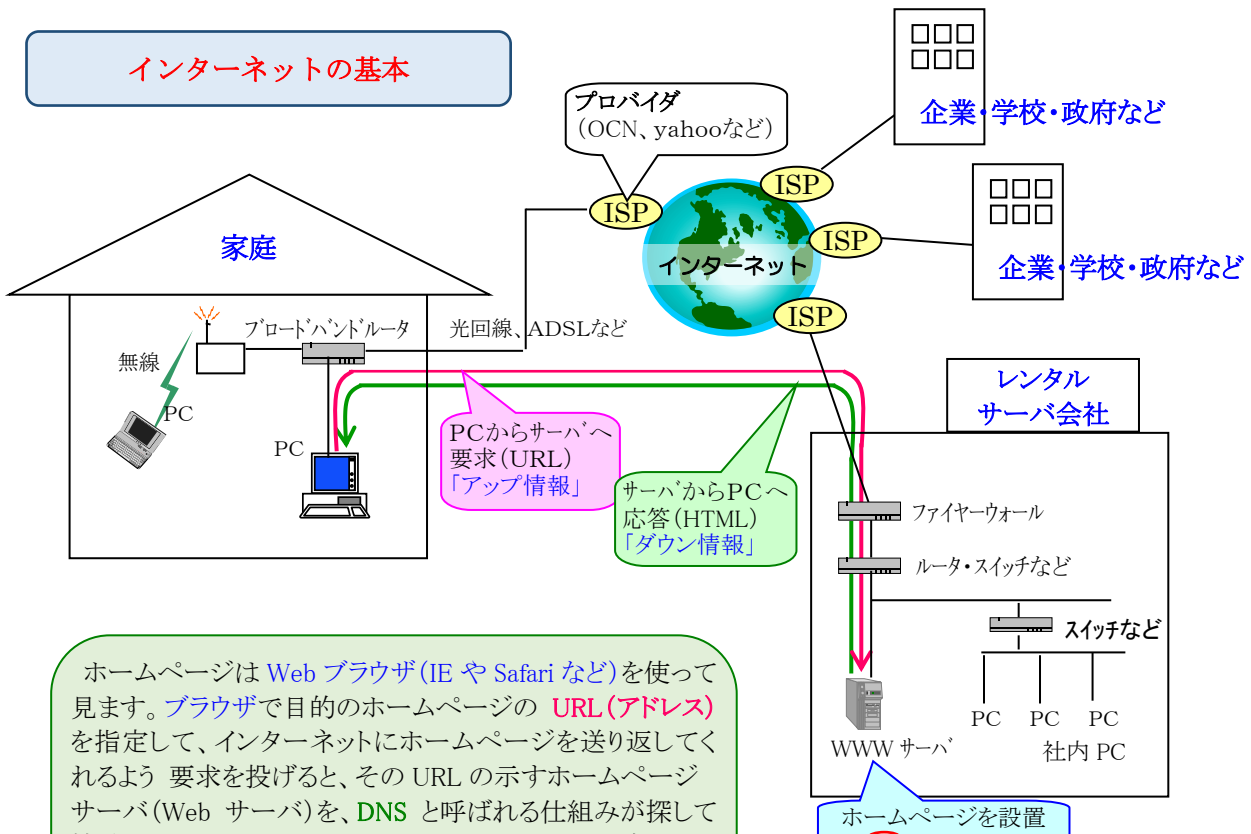
文字・写真・表・フォーム・動画など

```
</BODY>
```

```
</HTML>
```

表示文字コードの指定

インターネットの基本



ホームページは Web ブラウザ (IE や Safari など) を使って見ます。ブラウザで目的のホームページの URL (アドレス) を指定して、インターネットにホームページを送り返してくれるよう 要求を投げると、その URL の示すホームページサーバ (Web サーバ) を、DNS と呼ばれる仕組みが探して接続してくれます。その URL の示すホームページサーバ (Web サーバ) は、それに答えてホームページを HTML という形式で送り返してくれます。それをブラウザが解釈して人間の理解できる形に直して表示してくれるのです。

注意) このホームページサーバは、企業・学校・政府などの中に直接置かれる場合もたくさんあります。

●スタイルシート(CSS)

標準的な記述スタイル

その1. (HEAD 領域に記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <META http-equiv="Content-style-Type" content="text/css">
  <style type="text/css">
  <!--
  -->
  </style>
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、`<!--` から `-->` の間に **CSS** を記述します。

このコードでは、`<BODY>` タグ内に **HTML** タグを記述します。

その2. (BODY 領域に記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、`<BODY>` タグ内に **HTML** タグを記述します。

CSS は、HTML タグ内に **style** タグで記述します。
例) `<tr style="background-color:#ffff00;">`
※これは、罫線の枠内の背景色を黄色にするというものです。

その3. (外部ファイルに記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
  <link href="ファイル名.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
</HEAD>
<BODY>
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、`<BODY>` タグ内に **HTML** タグを記述します。

CSS は、設定されたリンク先ファイルに記述します。
この場合は、「**ファイル名.css**」の中で記述

● Javascript

標準的な記述スタイル

その 1. (HEAD 領域に記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <META http-equiv="Content-style-Type" content="text/css">
  <script language="JavaScript">
    <!--
  -->
  </script>
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、JavaScript の記述が HEAD 領域の <script> タグ内で行われます。<!-- から --> の間に JavaScript を記述します。

HTML タグを記述します。

その 2. (BODY 領域に記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <META http-equiv="Content-style-Type" content="text/css">
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
  :
  :
  <script language="JavaScript">
    <!--
  -->
  </script>
  :
  :
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、JavaScript の記述が BODY 領域の <script> タグ内で行われます。<!-- から --> の間に JavaScript を記述します。

HTML タグを記述します。
BODY タグで囲まれた HTML タグ領域にも JavaScript は記述できます。

その 3. (外部ファイルに記述する場合)

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01//EN">
<HTML lang="ja">
<HEAD>
  <META http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Shift_JIS">
  <TITLE>ホームページのタイトル名</TITLE>
  <link href="ファイル名.js" rel="stylesheet" type="text/css" />
</HEAD>
<BODY>
</BODY>
</HTML>
```

このコードでは、JavaScript の記述が外部ファイル (ファイル名.js) に記述されます。

HTML タグを記述します。

Javascript は、設定されたリンク先ファイル (ファイル名.js) に記述します。